

## 「緊急にロシアと話し合え」米上院議員が、新核兵器の発表を受けて対話を要請

【訳者注】これはプーチンのロシアの、対米関係の総決算のような話である。アメリカは一方的に、ロシアとプーチンを“悪魔化”して挑発し、ロシア国境一帯に戦力を進めて、一触即発の状態に置いてきた。プーチンはそれに乗らず、常にアメリカを、協力して世界を正常化すべき「パートナー」だと言い続けてきた。(SOTN は、プーチンはその忍耐と良識によって、第3次大戦から世界を守っている恩人だと言っている。)しかし、アメリカとその同盟国は、プーチンの言うことに全く耳を傾けず、世界が本当はどういう一方的で、理不尽な、かつ危険な状態にあるかに、目をつぶってきた。そこでプーチンは、この太字の、小気味のよい言葉(3頁)を世界に向って突き付けた——君たちは、どうしても我々の言うことに耳を傾けなかった。だから、今度はちゃんと聴け！ これは、核兵器開発の自信に基づく脅しであるが、日本政府を含めた米側の言うような、“新しい危機”をもたらすものなどでなく、正当防衛としての、純粋な抑止力としての、新しい核戦力である。

ところで私は、地球上の核兵器はすべて、ある不思議な力によって、発射の瞬間に neutralize (無力化)されるという説を信じているが、ロシアの核兵器だけは別かもしれないと考えるときもある。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/161028.pdf>

RT (Russia Today)

March 9, 2018

<https://on.rt.com/90pz> (ビデオ)

米立法者のグループが、モスクワとの戦略的対話を要請した。彼らは、ロシア大統領ウラジミール・プーチンの、いくつかの最新式の兵器システムの発表にともなって、事態は「より緊急性」を帯びてきたと考えている。

「プーチン大統領が、3月1日の公式演説で、巡航ミサイルや核海底ドローンを含め、ロシアが開発しつつあると言っている、いくつかの新しい核兵器に言及して以来、米露戦略対話をもつことが緊急性を増してきた」と、アメリカ上院議員 Edward J. Markey (民、マサチュ

ーセツ)、Jeff Merkley (民、オレゴン)、Dianne Feinstein (民、カリフォルニア)、それに Bernie Sanders (無、ヴァーモント) の署名つきの手紙は言っている。

<https://www.markey.senate.gov/news/press-releases/amid-heightened-tension-markey-merkley-feinstein-and-sanders-press-trump-administration-to-jumpstart-new-strategic-talks-with-russia>

米務長官レックス・ティラーソンに当てられたこの手紙は、木曜日に発表された。これらの上院議員たちは、両国は、2016 年米選挙へのロシアの“介入”や、クリミアの“編入”と言われるものを含む、多くの「重要な」不一致はあるものの、モスクワとワシントンは、交渉のテーブルにつく必要があると強調している。

「これらの政策上の違いのゆえに——にもかかわらず、ではなく——アメリカは緊急にロシアとの話し合いを行って、計算違いを避け、戦争の可能性をなくすようにすべきである。」

これらの立法者たちは、新しく完成したロシアの核兵器のいくつかは、戦略的兵器削減条約 (START、通常、新 START と呼ばれる) の定める範囲内に入らず、したがって、この取り決めは拡大しなければならない、という懸念を持っている。問題の兵器には、事実上、射程限度がない巡航ミサイルや、核能力をもつ海底ドローンが含まれている。

しかしこの手紙は、ロシアが、1982 年の中距離核戦力条約 (INF) に従わなかったことを非難する機会を、逃しはしなかった。そして国務省に対し、違反と言われていることを取り上げるよう要請した。モスクワとワシントンは、数年間、INF 条約違反を、お互いに責め合ってきた。アメリカは絶えず、ロシアが、合意では禁止されている射程を持つミサイル・システムを、開発していると言って非難してきたが、そのような主張を裏付ける、どんな特定の情報も提出したことはない。

モスクワは、アメリカの INF 条約に関する落ち度について、それ自身の長い告訴状をもっている。そこには、アメリカのドローン計画や、イージス上陸計画の一部として、海軍のヨーロッパでの垂直上陸システムの、地上設置が含まれている。ロシアは、これらは条約違反になると主張している。2017 年 12 月、プーチンは、ワシントンは明らかにこの協定を離脱する条件を作りつつあると言い、その脱退のプロセスは現に、すでに始まっていると言った。

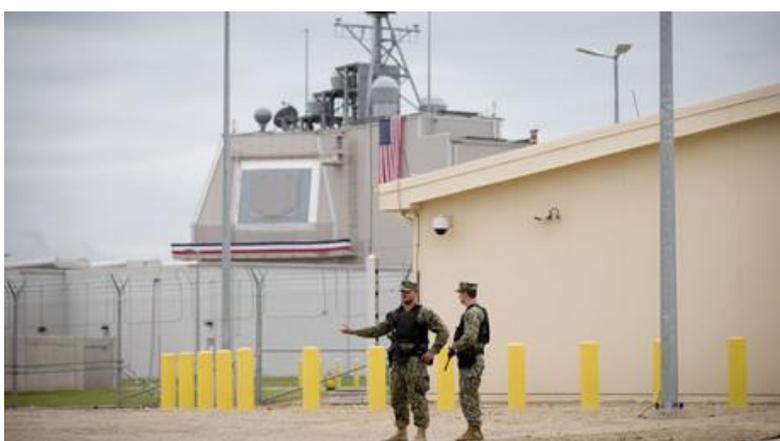
<https://www.rt.com/news/413096-us-russia-missile-treaty/>

ロシアとアメリカのトップ外交官、セルゲイ・ラヴロフとレックス・ティラーソンは、彼らが二人ともアフリカにいる間に、会見するかもしれないという噂があった。しかし、米務省は、相互間の討論があったためしはない、と言った。これについて訊ねられたロシア外務

大臣は、そのような討論がなかったというのは、「事実を反する」と言った。

3月1日に、ロシアの大統領は、その一部はまだ名前のない、一連の進んだロシアの核兵器を公表した。彼の国家演説の中で、プーチンが強調したのは、もしロシアが、その当然の懸念をアメリカやその同盟国に聴いてもらえたら、こうした新しい兵器はすべて必要がなかったものだ、ということだった。「誰も、問題の根源について、我々に話したがらなかった。誰も我々に耳を傾けなかった。だから、今度は我々に耳を傾けよ！」と彼は言った。

<https://www.rt.com/news/420206-russia-strategic-weapons-putin/>



「アメリカが事実上、ミサイル条約を離脱したのだ、ロシアにその意思はない」——プーチン

このスピーチは、西側メディアからのヒステリックな反応と、武力を誇示し、“新しい軍備競争”を始めるものだという批判を引き出した。プーチンはNBCに対し、実はこれはワシントンに責任があるのだと語った。ロシア大統領は、アメリカが2002年に、1972弾道弾迎撃ミサイル制限条約（ABM条約）から撤退する決定をしたことに触れた。

<https://www.rt.com/news/420230-media-reaction-putin-speech/>